

## 第20回土岐市子ども・子育て会議 会議録

日時 令和3年10月6日（水）

午後3時00分～

会場 市役所 3階 大会議室

【出席者】 山田 利彦 山村 真由美 伊東 美穂 赤川 冨香 福富 泰岳  
加藤 隆浩 小栗 潔子 鷺見 政人 古宮山 綾乃 三宅 裕一  
熊崎 克朗 藤田 佳代 近崎 奈保子 松崎 多恵子

【欠席者】 なし

（敬称略）

（事務局）

ただいまより第20回土岐市子ども・子育て会議を始めさせていただきます。

配布資料確認

### 1 健康福祉部長あいさつ

本日は、委員の皆様方には大変お忙しい中、子ども・子育て会議にご出席を賜りまして誠にありがとうございます。また日頃から本市の子育て支援施策の推進について、ご協力をいただいておりますこと重ねて御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言がようやく解除されましたが、依然として新規感染者数が若者を中心に一定程度確認されているという状況にあります。そういったことから感染拡大は収束しているという訳ではないと考えています。これから秋の行楽シーズンが始まりますが、市民の皆様には引き続きマスクの着用や3密の回避等の感染防止対策の徹底に努めていただきたいと考えています。

本日の会議は、本市で行っている放課後教室につきまして社会情勢の変化に伴い、子育て環境が変化しているという状況から、開室時間の延長につきまして、ご審議いただきたいと考えています。委員の皆様方には、忌憚のない発言をいただきまして、会議の開催運営にご協力をお願い申し上げ、あいさつに代えさせていただきます。よろしくお願いいたします。

### 2 会長あいさつ

本日の議題として審議していただくのは、一つということです。事前に資料を見ていただいておりますかと思いますが、放課後教室や保育園での延長保育、幼稚園での預かりについては、私たちはあまり慣れていない部分もありますので、色々お聞きいただいて、また、その現場にいる方々の現状をお話しいただいて、皆さんで意見を共有したいと思います。終わった後は、それぞれの立場や団体を代表してみえる方、市民の方の情報交流ということで1人ずつお話しをしていただけるとありがたいと思っていますので、ご準備をお願いします。

### 3 放課後教室の実施時間延長について

(山田会長)

それでは議題3 放課後教室の実施時間延長について事務局から説明をお願いします。

(事務局)

生涯学習課長より資料①・②を使用して、現在土岐市で実施している放課後教室の概要（他市で実施している学童保育、放課後児童クラブとの違い等）について説明、その後、放課後教室の開室時間を子育て支援の観点から1時間延長させることについて説明。

(近崎委員)

アンケート結果で、「平日18時まで利用」は60人で、「19時まで利用したい」は70人と10人増えていますが、19時まで利用できるとなればもっと働く時間を長くしたいからということで良いのか。また、子どもの健全育成を考えると19時までの場合、おやつ等の時間等はないのかと思う。19時まで預かると夕飯が19時30分や20時になってしまうため、その間何も食べないのは子どもにとってどうなのか。おやつ等の時間はあるのでしょうか。

(事務局)

「平日18時まで利用」の60人は、現在利用している方の60人が18時まで利用しているということで、「19時まで利用したい」70人については、19時まで利用したいという回答の数です。今は利用していなくても、もし19時まで開室するのであれば利用したいという方になると考えています。

学童保育では費用を徴収しておやつ等を提供しているということを聞きますが、当市の放課後教室は教育的観点の中で始まった事業であり、就労支援を目的とした学童保育や放課後児童クラブとは違う経緯で立ち上がっています。あくまで時間延長については、おやつが無いことを承知していただいたうえで希望する方が利用するということになります。現時点ではおやつ等の提供は考えていませんが、放課後児童クラブは国の基準があり、面積要件や職員の体制等の基準がある中で、当然おやつ等を提供するというのも基準に沿ってやっているのに対して、放課後教室は市独自の事業ですので、おやつ等を提供するののかしないのか、提供するなら体制や費用の徴収をどうするかを今後の運用の中で検討課題として考えていかなければいけないと思います。

(小栗委員)

料金の設定について、瑞浪市や多治見市は民間が入っていて料金が高いので、本当に就労している人しか預けていないと思いますが、この3,000円という料金は、市からの補助がほとんどになるということでしょうか。延長するなら、どのぐらいの料金を考えていますか。

(事務局)

料金について、当市の放課後教室という形で事業をやっている市町村は県内には一つもなく、また、学童保育という形態が多く3,000円という金額での実施はありません。近隣の学童保育は6000円ぐらいから1万2000円と金額に幅がありますが、事業に掛かる経費などから利用料の算定をしていると思われます。放課後教室の利用料は安価であり事業費を賄える

ような金額ではありません。あくまでも延長部分についてこれから料金設定をしていくことになりますが、この延長部分については、利用料の 3000 円を基準に考えた場合、元々非常に低い金額で設定されていると考えていますので、延長部分だけでも、例えば 3000 円とか、そういう金額になる可能性はあると思います。その場合は、かかる経費、体制や環境を整備する経費から、どれぐらいの利用者が見込まれるのかも踏まえて料金の設定をするので、現時点で正式な数字は決まっていますが、3000 円に近いコストがかかってくればそのような金額設定になると想定されます。

(山田会長)

年齢は違いますが、保育園や幼稚園でも、それぞれ、延長保育・預かりを行っています。大体 19 時までですね、先ほど質問がありましたが、保育園、幼稚園で現在やっている中で、子どもたちの様子、親の様子、先生方職員の様子や工夫している点など、教えていただければ良いかと思います。

(熊崎副会長)

駄知幼稚園での様子しか分かりませんが、この 1 週間の預かり状況によると、21 人の預かり登録がされている中で 1 人だけ 19 時までの登録になっていますが、この 1 週間は 19 時まで残ることはない状況です。18 時過ぎて残る子は 1 人いるので、18 時までには預かりの教室で預かり、残った時間は職員室に来て日直の先生が見るという状況でやっています。遅くまで残るのは 1 人だけですので、幼稚園から小学校に上がっていく子でいうと、19 時まで預かってもらわないと困る人数は多くはないと思います。たくさん放課後教室に入るかもしれませんが、幼稚園の子は 18 時まであれば十分ではないかと思います。あとは、全然違うことですが、19 時までになると、室長さんや指導員の方の確保をどうするのだろうと思っております。

(事務局)

室長・指導員については、今後ヒアリング等を実施していく中で、継続勤務をお願いしながら、職員体制を作っていきたいと考えています。

(藤田委員)

久尻保育園は、両親ともに就労しているため保育が必要、ということで利用している子が多いです。16 時で短時間保育の子が帰り、標準保育、延長保育となっていくますが、学年別に分けて 4 クラスで 9 名の保育士が日替わりで入っており、帰っていく子も多いので、時間によって、17 時までの勤務、17 時半まで 18 時まで 18 時半まで 19 時までという形で、当番を組んでいます。3 歳にならない子でも、19 時まで必要とされている場合があります。0 歳児でそういうニーズがあって入園された子は 5 歳まで久尻保育園に在籍され、お母さんも、19 時ぎりぎりの滑り込みで迎えに来る場合もあり、本当に必要で利用されているということを感じています。先ほどのアンケート結果にもあった、19 時までになったら利用したいという方が増えているということは、今現在は 18 時までなので、やむを得ず他の仕事をしたり、預かり先をどこか見つけたりするのか、19 時になるから就労の条件を変えるのかというところは分かりませんが、現場にいて私も実際働きながら子育てをしてきたこともあり、親の立場で設備が整ってくると、それを利用する方も当然出てくることもあります。保護者の声はこうして上がってきますが、なかなか子どもの声というのは上がりづらいと思います。

先ほどの話でおやつも食べずに、遅くまでどうやって過ごすのかと疑問に思われたというところもありますが、そのあたり葛藤する部分も多々あるとは思いますが。

(福富委員)

土岐津こども園は0～2歳が15人程で、18時以降は5～6人いますが、18時30分を過ぎると2人程が残る状況です。19時までに2人は帰り、19時以降残る子はいません。

私がいつも保護者の方に話をする内容として、以前は、住める家で祖父母、父母そして孫での生活だったのが、今は住める家があっても、結婚すると別居してしまう。ですから、どうしても両親共働きだと、保育園やこども園で子どもを預かるということになります。そういう施設があるので、共働きの両親は安心して仕事に専念できると思いますが、私は常々保護者の方に「おばあちゃんに子どもを育ててもらおうと一番良い」と話しています。家庭での子育てとしておばあちゃんパワーというのは素晴らしいと私はいつも、保護者に申しえています。

(加藤委員)

花園保育園は二つ合わせると250人～260人がいて、その中の半数以上が延長保育を利用しています。18時過ぎても数十人いる状態ですが、18時半を過ぎると子どもは両園合わせて5人ぐらいになってくるので、本当に限られたお子さんだと思って見えています。限られた家庭の中でも配慮しなければいけないと思っているのが、本当に仕事の配慮が必要な家庭と、どちらかというところネグレクトを心配するような家庭も中にはあるのではないかと考えています。本来であれば保護者の元が良いのですが、早く帰って家にいればその子は幸せなのか、それとも愛情を注いでもらって保育士に見てもらう方が幸せなのか、育児能力に乏しい方というのは全国的にも増えていて、ネグレクトや虐待件数も本当に多いと思います。岐阜県では子相に上がってきているだけだと、確か2,500件ぐらいだったと思いますがそれは氷山の一角で、上がっていない件数はもっと多いのだと思います。そういった背景を、保育をする中で見ていく必要性を非常に感じていますので、そういった保護者で買い物に行っていて19時ギリギリになったり19時過ぎて迎えに来た場合でも、先生たちにはねぎらいの言葉をかけるよう話をしています。「ご苦労様でした」「大丈夫ですよ」「心配しないでくださいね」「気をつけて帰ってくださいね」と子どもたちにも声かけながら、そういう繰り返しだと思って園の運用をしているところです。

(小栗委員)

共同保育所だけの子園は19時までやっていますが、最近は19時までの預かりもなく、大体18時までには全員帰ります。19時まで使う方はいないのかなと思います。

私は多治見で子どもを学童保育に入れて育てていたのですが、民間委託する前の学童保育で、1ヶ月1万5000円支払って兄弟2人を預けていたので、土岐市では3,000円で見てもらえるということで、少しびっくりなのとおやつはないのか、と思いましたが助かる親は多いと思いました。おやつを取るか値段を取るかということですが、兄弟減免や、ひとり親家庭で所得が低い方の減免等はどうなっているのでしょうか。

(事務局)

他市の状況を見ますと、低所得者に対する減免の仕組みがあるということを聞いています。土岐市の放課後教室に関しては、3,000 円と金額的にも安価で実施していることもあり、現時点で減免等の仕組みはありません。実際に土岐市の事業の成り立ちがあり、この安い金額で18時まででも預かってもらえるならと思っている保護者も多数みえます。これが学童保育という仕組みになった時に、利用料金が現状で良いとは思いませんので、それを上げることとなれば、果たしてどうなのかというところはあるかと思います。現状のこの利用料金で、これまでやれる範囲でやってきたところがありますので、今後そういった現状等については研究課題とさせていただくとともに、仕組み自体を見直していかなければならない時期も来ると思います。

(山田会長)

土岐市の放課後教室という、独特のやり方、考え方を理解して進めていくことになると思います。またその中で1時間延長するということについて、たかが1時間、されど1時間という感じもあるのではないかと思います。今、現場の先生方からの現状をお伺いしましたが、その話を聞きながら、他の委員さんで何かありますか。

(山村委員)

私は祖母も同居していたので放課後教室の登録だけをして、使ったことがなかったのですが、近隣の話を聞いていて、祝日でも見てくれる施設もあって、私もそうですが祝日も仕事に行けるので、そういう方は非常に助かると思います。

(松崎委員)

私の子どもの頃にはこういう良い仕組みがなかったので使えませんでした。今、コロナでなかなか放課後教室もやれない状況だと思いますが、皆さんが土岐市は平等に預けることができるということで大変やさしいですねと言っています。それは良いのですが、保護者によっては、子どもを預けた後、お母さん達が喫茶店などに行くという光景がよく見られると批判めいた意見を聞いたことがあるので、本当に就労している方にやさしい放課後教室であって欲しいと思います。

(山田会長)

放課後教室には私の孫もお世話になりましたが、高学年になってくると家で宿題をしたり近所の子と遊んだりということができるので、大体小学校2～3年生ぐらいまで利用していました。学校側としてどうでしょうか。

(三宅委員)

高学年になれば自分で帰る子も多くなってきますが、小学校においても放課後教室と連携してやれているのが非常に良いと思っています。今のコロナ禍では、密を避けるということで、多くの保護者の方には昨年度からできるだけ自宅で見えていただいていますので、この参加者数も、通常だともっと多い数字が出ると思います。そんな中で、19時までということであれば、やはり1人でも2人でも助かる親があるということはあるがたい。保護者が無理をしないことで家庭が安定する等、そういう意味で言えば、学校としてもありがたいことだと思います。ただ、今後ニーズがさらに増えていくことになる、学校の施設が足りないとい

うことで教室がどうなっていくのかは難しいところだと思いますが、時間を延長するということに関しては、ありがたいことだと考えています。

(小宮山委員)

夏休みの放課後教室にボランティアの読み聞かせで週に1回行ったことがあります、とても密な状態で、2年生までとそれ以外で部屋が分かれていて、低学年の方に入ったのですが、ものすごく密だったので考えたほうが良いと思っていたら、夏休みの最後にコロナが出てしまい、バタバタしました。面積要件のところには、放課後教室は「なし」と書いてありますが、コロナ禍ですので今後は少し規制をかけても良いと思います。

(事務局)

当然そういったご心配はあると思います。このコロナの状況を踏まえて、担当課としては家で面倒を見ていただける方は何とか家で面倒を見ていただきたいというお願いを保護者の方々にさせていただいています。放課後教室はあくまでも土岐市独自の事業ということで、面積要件も使っていませんが、今の環境を広げていくことができるのであれば、広い場所で多くの子どもを見ていくことは可能ですが、学校施設を利用している中では、密にならないような状態を作ろうとすると、例えば人数の定員を作るとか、利用を制限すること等が必ず必要になってきます。そうすると預けたい、通いたいという子が通えなくなる事態も出てきますので、今の利用状況等も踏まえながら、検討していく課題かと思います。

(小宮山委員)

指導員は十分足りていますか。

(事務局)

現場から指導員を増やしてほしいという話を聞いている箇所はありませんので、現場として対応できていると考えていますが、指導員を増やさないという考え方ではなく、放課後児童クラブの基準を参考にしながら、現場の方で危険な状態が生まれているなどのことがあれば、指導員を増やしていく等、現場からの要望等を伺う中で、調整したいと思っています。

(赤川委員)

16時までに祖母が迎えに行ってくれて自分の仕事が終わるまで祖母の家にいるという状態で働くことができます。19時まで延長ということで、親の面で考えるとありがたいと思います。どうしても祖母が迎えに行けない時に、1回だけ18時半前に娘を迎えに行ったことがあります、先生と2人でいて、先生方に対して申し訳ない気持ちと娘に対して胸が痛い気持ちで、「1人で待たせてごめんね」と思いました。預かりで子どもが1人、2人と減っていくと、1人なった子どもは不安になってしまうと思うので、親の面、子どもの面で考えると、複雑な気持ちになります。

(鷲見委員)

この1時間延長の目的が「就労支援」ということで、保護者が働きやすい環境になると思います。自分が担当する業務の中で、生活困窮で生活費が足りない等の話を受けて貸付に係る相談を受けることもあるのですが、18時ぐらいまで働けば、1日フルタイム就労ができる会社がありますが、放課後教室が18時までなので、それまでに迎えに行こうとすると、17時頃には終わるような仕事を探さなければいけなくなり、そうすると、フルタイムで働ける

ような仕事がないため、うまい具合に収入の得られる職に就けず、生活費が足りないと言われる相談も多くあります。なので、1 時間延長されることで、そういった方々がフルタイムで働けるような職も見つかり、親の収入も上がることで、子育てや生活不安の面も多少は改善されると思いますので、延長するのは 1 時間ではありますが、とても大きな事業の進み具合だと感じました。あとは利用料がどの位になるかというところは、大きいところではあります。また、実際にこの 1 時間延長の部分で就労支援を目的とした方が、本当にうまくこの事業を知って利用できる方に繋がればなお良いと思います。先ほど松崎委員が言われたように子どもを預けて、お母さんたちだけどこかに行くという話も、聞いたことがあります。そういった人の利用ではなく、本来の利用対象の方が十分に利用できるように進められればと感じました。

(伊東委員)

まだ子どもが幼稚園児で、私はお迎えの 14 時まで働かせてもらっています。この放課後教室のことを詳しいところまで分かりきっていないのですが、お母さんが夕方まで働き、夏休みの間放課後教室に入っていた近所の小学一年生の子の話を聞きました。その子は夏休み中ほぼ毎日行っていたようですが、このコロナ禍ということもあり、お友達とほとんどしゃべってはだめで、1 日中ほぼ 1 人でオセロをやっていた、という話を聞き、そのお母さん自身も夏休み全部行かせて良いものか、でも、自分の仕事もあるので行かせざるを得ない、ということ言っていたので、コロナが収束すればそういった問題もないのでしょうか、就労支援という面もありますが、子どもたちが家庭ではない場所で楽しい時間を過ごせる場所になってくれたら良いと思います。

(山田会長)

皆さんたくさんご意見、感想をいただきありがとうございました。手元の議会だよりで質問が出ていまして、教育長さんが「制度を検証し、教育だけでなく子育ての支援という観点から横断的な意見交流を行っています」と議会でお答えになっています。時間延長の可否を含めた検討に入りましたという教育長さんの答で、まさにこの場も、横断的な意見交流にできたのではないかと思います。こどもの権利条約にありますように、子どもに関するあらゆる措置は、市や社会福祉施設等、行政当局のどこが実施しても、子どもの最善の利益が考慮されるもの、ということが書いてあります。そういう中で、子育て支援と子どもたちの最善の利益というものを、両方絡んで進めていただくということが意見なのかと思いました。生涯学習課長から何かありましたらお願いします。

(事務局)

いろいろなご意見をいただきましてありがとうございます。制度について、利用者・保護者の方々の思いがたくさんあるということを勉強させていただきました。今回は 1 時間延長という取り扱いをさせていただくことから始まりましたが、お話を聞いたところでは、休みの日の実施、おやつ等食べ物の提供、現場の対応など、皆さんが疑問に思われることだろうと思います。それについては、現時点ですぐに対応できると申し上げられませんが、事業を実施していく中での研究課題とさせていただきますのでよろしくお願いします。

## 4 その他

(山田会長)

1時間延長ということについて、皆さんにご意見いただけたと思います。色々なアイデアを出して工夫、調整をしながら進めていただければ良いと思います。最初にお伝えした、それぞれの団体やお立場で、連絡や皆さんに伝えたいことについてお話を伺いたいと思います。

(山村委員)

緊急事態宣言下でなかなか会議ができませんでしたが、今月に入って会議をし、昨年度からできなかったことが、ようやくこの秋にできるということになり、昨年度役員の方と一緒にやっていくという形で不安もありますが、人数制限もある中、学校の方に来ていただいて講演会を実施します。

(伊東委員)

土岐津幼稚園ですが、1週間延期された運動会を今週の土曜日に開催する予定です。来場は乳幼児含めた両親のみですが、今日の午前中に総練習があり、私も見てきました。やはり子どもたちが一生懸命頑張る姿はすごく心が打たれると思いました。小学校も、親の参加ができないけれども運動会を実施するという話を聞いたので、こういう時代ですが子どもたちが一生懸命頑張る姿を心から応援してあげたいと思っています。

(赤川委員)

保育園連合会では、毎年セラトピアで集まって映画会などを実施していましたが、コロナのワクチン接種の会場となり、密になることを考慮した結果、今年も中止にさせていただきました。ただ、せっかく保護者会ということで集まったメンバーなので、最後に意見交流ができたらと考えています。

(福富委員)

子育て支援課に聞きたいのですが、今、テレビ、新聞等で児童虐待が本当に多いのですが、これは全国的に年々増えているというニュースを聞いております。把握していれば土岐市における虐待の件数を教えていただきたい。また、報告についても年々増えているのか、どのぐらいの件数があるのか教えていただきたいと思います。

(事務局)

虐待の件数について、今資料の持ち合わせがないので、はっきりと申し上げられませんが、土岐市要保護支援児童及びDV対策地域協議会（要対協）の会議を実施する中で、件数は年々増えてきているという認識です。報告について、福富委員がお話しの虐待事件の前になりますが、当市でも、虐待の通報がありました。すぐに対応をしている状況です。市は把握していたけれど何もしなかった、ということにならないよう、何か通報があった場合にはその場で考えて躊躇せず、警察や県の子相と連携をして、すぐ動く体制を作り、対応するようにしています。また各園からでも、何か困ったことや、ネグレクトの疑いなどありましたら教えていただけたらと思います。

(加藤委員)

学生相手に話すことがよくあるので、その時には「いちはやく1・8・9」と番号を押せば、すぐに児童相談所に連絡がいくので、誤報でも良いから虐待を未然に防ぐためにも連絡して下さい、と話しています。ポスターもありますので、園に掲示して保護者にも伝えていますが、皆さんも知っていると思いますが、「いちはやく1・8・9」でお願いします。

花園保育園は先週の土曜日に運動会を開催しました。土岐津公民館をお借りして、1 学年ごとに時間を区切って午後までかけて未満児、年少、年中、年長と 4 部で行い、今度の土曜日は、青空保育園での運動会を同じように開催することになっています。色々な行事が中止となっている中なので保護者の方にもすごく喜んでいただき、保護者制限や消毒、ソーシャルディスタンス等、色々な条件はありますが、それがあっても開催できて良かったと思っています。今後はバス遠足も控えていますし、子ども達の楽しめるイベントを削らずにどうしたらやれるのか考えながらやっています。こういうやり方でやったら等、意見があればぜひ保育園に教えていただけると大変うれしく思います。

(小栗委員)

先ほど学童保育の話をして、そういえば自分が子ども達を育てた頃を思い出して、民間委託の前だったので親が自主運営で、その時は朝 8 時から夜 8 時まで子どもを 60 名預かり、職員も正職員を 2 人雇いながら給料の計算まで全部やっていましたが、夜 8 時までやっていたので、名古屋でお仕事されるパターンの夫婦もいて、仕事を頑張りながら、学童の色々な仕事も頑張って、今思えば子どもたちも良い経験をしましたし、その時に仕事と子育てを頑張る仲間もできたので、自分にとって良い時間でした。その後、多治見市も民間委託になって 1 か月に 7,000 円程でやるようになりましたが、夜は 19 時までになり、土岐市もこれから夜の 19 時までに延ばすということで、少しずつお母さんたちも諦めないで、自分の好きな仕事ができる時代が来ていると思います。女性もキャリアを積んで、名古屋で勤めていた人もそのまま続けられるようになると、もう少し出生率とかも増え、土岐市に住める人も増えるだろうし良いと思いました。少しずつそういうことが広がっていくのは良いことだと思って、こういう話し合いをしながら、預けやすい、働きやすい環境を作っていくのは良いことだと思いました。

(鷲見委員)

社会福祉協議会が運営する施設で、児童館、児童センターがありますが、9 月 30 日をもって緊急事態宣言が解除されたので 10 月 1 日から通常運営をしています。月曜日から土曜日まで午前の部が 9 時 30 分から正午まで。午後の部が 13 時から 18 時まで開館しています。以前は毎月、様々な行事を実施していましたが、コロナ禍により施設の定員を設けて実施しています。今月は、緊急事態宣言が明けてすぐということもあり、行事を見送って様子を見て、11 月から行事を再開していきたいと考えています。

先ほど就労支援の件で、18 時まで働けるところがあればフルタイムの働き口があるけど、というお話をしましたが、放課後教室は 18 時までで、17 時で終わって 18 時までに迎えに行こうとすると、フルタイムで働けない、働き口がない、ことを理由に働かない親もいます。働かない理由を常に見ている方がいて、そういう方は 1 時間延びたからといって働くかという、なかなかそうはいかないと思いますが、今後相談があった時は「来年度から 1 時間伸びるから、それを理由に働けないとは言えませんよ」ということを言っていきたいと思います。これは、12 月の市議会に条例案を出した後、実際に市民の方へ周知し始める時期は、いつ頃からになるのでしょうか。3 月頃からであれば話しても大丈夫でしょうか

(事務局)

12 月議会に条例を出すので 12 月議会で議決を得て決定となりましたら、速やかにお知らせします。放課後教室に関しては、毎年事前登録が必要ですので、来年度の登録が始まる時には、学

校にお知らせをしますので、今回の制度が変わったことについても周知ができるよう進めていきたいと思います。

(松崎委員)

この会議は、いつも有意義な会議だと思っています。先ほど加藤委員が言われた「1・8・9」のコールセンターに勤めている人が友達にいますが、子どもからの相談がすごく多いと聞きます。岐阜の方なので、事情が違うと思いますが、土岐市もこういう子どもたちや、どうしても困ってしまっているお母さんの悩みを聞いてあげるようなところがあれば教えてください。そして、先ほど小栗委員が言われましたが、女性のキャリアについて、このコールセンターに努めている友人が、バリバリのキャリアだったのですが、子どもが生まれたことでそれを捨てて、離職した訳ですけど、私がこういう会議に出ると言った時に、どうして女性が仕事をやめて、キャリアを捨てなくちゃいけないのかということを皆さんに考えてみてもらってくださいと言われたのですが、支援してもらえる仕組みがあれば、女性も社会でバリバリやっていけるのではないかと思います。

(近崎委員)

質問をさせていただきたいのですが、コロナ禍ということもありオンライン授業が増えてきたと思います。タブレットを子どもたちが持って家で学習するとなった時に、ネット環境の格差がある気がして、現在の状況はどうなのかということと、今までは給食があったので何とか1日1食はまともな食事ができていたのに、それが自宅でということになると、まともな食事が摂れない子どもたちが増えてしまうと思います。そういう時に「子ども食堂」等のボランティアとの協力ということで、例えば子ども食堂を運営している団体や、また前回会議で言われたときっこ子育てハンドブックの外国版を考えた時に、その外国と交流しているボランティアの団体等と連携をすることで、片隅の子どもたちを救う手だてはできないのかと思いました。

(事務局)

オンライン授業の件ですが、教育委員会で各家庭のWi-Fi環境調査を実施しました。市内平均で、約95%はWi-Fi環境が整っているという状況でした。整っていない家庭にはどうすれば良いかということですが、方法としては近くの公民館では環境が整っていますので、そちらでタブレットを操作していただく、或いは学校に近いのであれば、学校に来てもらってタブレットを操作していただくということで対応させていただいています。ある学校では、こういう世の中になってきているので家庭の方でもWi-Fi環境が必要だろうということで、ほぼ100%に近い環境が整っているという声も市内の中には、ちらほらと出てきているという現状です。

(事務局)

子ども食堂の連携、支援について、市内で今現在子ども食堂をやっている団体は1ヶ所あります。先月、子育て支援課職員が訪問をした時の状況ですが、コロナ禍のため、子ども達が会して食事することはせず、お弁当を配布するだけでしたが、そこで子どもの様子を見ながら、困っている方について声をかけたという事例があります。また、困っていなくても、子どもたちにお菓子の袋詰めを渡して、毎月こういうことをやっていますよということで、顔が見える状態を作っているという状況でした。市としても、そういった活動を支援していこうということで、来年度に何かしらの事業としてできないかということを検討しています。

外国人の方の事業ということですが、まちづくり推進課において多文化、国際交流に係る事業を実施して、そういった資源ができてきた際には、団体に働きかけをするようなことをさせていただきたいと思っています。

(藤田委員)

お子様をお預かりする立場の者として、今回 2 回目ですが、こういう会議に出席して、自分の考えが本当に狭い中であったということを痛感しています。実際、今日みたいな会議の場で、本当に子育ての援助を必要としている方が、どういう形にいるのか、どうやってつないでいくのかということ、色々な立場の方の意見を聞きながら、その子の育ちを見守っていくというための会議の場に出させていただき、できることがあれば、こういうことをしたらということがあれば、またご意見いただけると本当にうれしいと思いながら、色々な話を聞かせていただきました。

(熊崎副会長)

私も多治見市に住んでいますが、共働きなので学童保育にお世話なり、遅くまで子供を預けていたな、ということは思いますが、土岐市もこうして 19 時まで延長することで、フルに働ける人が増えると幼稚園も助かるということをしたところですよ。働きやすい市になるということも大事だと思っています。幼稚園は、10 月 2 日以降各園で土曜日または、普通日にやる予定で 10 月いっぱい運動会がやれるという感じで進めています。ありがたいと思っています。

(三宅委員)

小中学校です。まずこの 1 時間の延長という話から言うと、例えば小学校中学校の先生は、子どもが下校してからしか自分の仕事できません。そのため 16 時過ぎから仕事を始めて 17 時半まで仕事していた 1 時間半が、19 時まで延びることで増えます。自分が仕事できるし、預ける時間が延びるということで、そういった意味で、学校現場で預けている方にとってはたかが 1 時間されど 1 時間だと思います。

緊急事態宣言下では小中学校においては、運動会等の練習は一切禁止ということで全く行っていませんでしたので、小中学校では運動会が 10 月の末或いは 11 月に延期をする学校がほとんどです。また春に行っている学校もあります。それぞれで工夫しながらやっていく、或いは運動会を行わずに体育フェスティバルにして、各学年だけでやる等、学校独自で行っています。修学旅行等についても、緊急事態宣言は解除されましたが、14 日までは岐阜県はやらないという通知が来ていますので、それ以降ようやく様々な学校行事が再開していくと思います。先ほど W i F i の話もありましたが、次長さんもおっしゃったように今年、去年まではコロナの対応としてどこかの小・中学校で出たら、学校閉鎖という形でどの学校も行っていました、変わってきて、現在は学級閉鎖という形で対応をするようになっています。9 月以降、本校でもそういったことがあり、早速タブレットを取りに来ていただいて、手探りながらオンライン授業をやっています。593 名のうち、タブレットが繋がらないのが 2 名ということで、先ほど話があったように、どこもそういった形でやった方がよいという意識の親も増えてきていると思って、ありがたいと思っています。

(小宮山委員)

先ほどの話で自分の娘がその頃は放課後学級って言っていたと思いますが、放課後学級について夏休みに私が早出をする必要があって学級は 8 時からだったので、7 時半に先生が来るまで 30 分 1 人で待っていてねということが数回あったということや、帰りの 18 時までに間に合わず、先

生と２人でポツンと教室で待っていたのを迎えに行ったことを思い出しました。少し遅れただけでもまだ大丈夫ということがあれば、少し安心できると思います。その娘はもう仕事をするようになり、将来子育ての時期に実際子どもはどうしたら良いのだろうということを考えるようになっていて、ちょっと不安になっているので、土岐市にも色々あるし、他の市にもいろいろあると伝えていきたいと思います。男女共に働きながら子育てができる環境が少しずつでも整っていくことをうれしく思います。

（山田会長）

皆様のご協力により、議事はすべて終了いたしました。皆さんそれぞれの団体を代表してきていますので、戻られましたら、各団体や職場の方、近所の方に広げて伝えていただければ大変ありがたいなと思いますし、事務局の方も、色々な意見が出ましたので、またそれを基にしながら、御苦労様でございますが、良いアイデアを出して進めて行っていただけるとありがたいと思います。事務局の方から連絡とかありましたらお願いします。

（事務局）

まだ検討段階ではありますが、子ども子育て支援事業計画 57 ページ④の「地域子育て支援拠点事業」について、計画では、西部と駄知と肥田にある市内児童センターに子育て支援センターを置いて、親子の交流や相談、情報提供などの事業実施に努めると記載されています。この子育て支援拠点事業について、できれば来年度から１ヶ所増やして、59 ページにあるファミリーサポートセンター事業と、61 ページにある利用者支援事業を合わせて実施し、事業の充実を図りたいと考えています。ファミリーサポート事業は、現在子育て支援課の職員が他の業務をやりながら事業を実施している状況で、前回のこの会議の中でも、委員さんからファミサポ事業について、会員数が少ないことについて会員数の増加や周知方法について色々ご意見をいただきました。その中で、この３つの事業について外部の機関に委託できないか、ということで検討を始めています。まだ検討の段階ですので、まず皆さんに情報の共有だけさせていただき、詳細な話が固まってきたら、また皆さんに報告してご意見をいただきたいと考えていますのでよろしくお願いします。

（山田会長）

では終わった後の立ち話とか、それをね、あまり密にならないようにですが、情報共有の立ち話なんかも大事にしてください。

（事務局）

ありがとうございました。長時間にわたりまして皆様からいろいろなご意見をいただきありがとうございました。以上をもちまして、第 20 回子ども子育て会議を終了させていただきます。

午後 1 6 時 3 0 分閉会